

PRESS RELEASE

平成 26 年 11 月 28 日
株式会社 池田模範堂

完成！ 新製品開発促進へ向けた、新研究開発棟

【 新研究開発棟 = ^{ムヒ} **muhi** スキン リ サ ー チ セ ン タ ー SKIN RESEARCH CENTER 】

当社はこのほど、新研究開発棟を完成させ 12 月 1 日より本格的に稼働いたします。従来の比をはじめとする虫さされ・かゆみ止め薬がコリーにとどまらず「肌を治すチカラ」のスーパーガンのもと、肌にかき起されるトラブル全般の治療薬開発を加速してまいります。



【 概 要 】

建設地は新たに取得した本社（富山県中新川郡上市町神田）隣接地約 10,700 m²（約 3,200 坪）です。構造は鉄骨一部 4 階建て、延べ床面積は 4,400 m²です。設計会社はプラス㈱、建設会社は清水建設㈱です。総建設費用は、土地取得費用を含め約 23 億円です。

【 経 緯 】

既存の研究開発棟は、建築後 20 年以上経過し老朽化していることに加え、当社がめざす、一番手商材の開発を促進するためには、より高度な研究・開発に対応できる施設が必要になってきたためです。

【 特徴 】

1. 目玉となる新規な研究設備

①人工気象室

例えば、夏でも冬の環境を再現した乾燥肌治療薬の試験が行えます。

温度 5℃～40℃ ±1℃、湿度 30%～90%±5%の範囲で設定することが可能です。

②開放研究室

これまで大学等外部施設で行っていた共同研究を当社で実施可能にする研究スペースを設けました。これを契機に、外部との共同研究を積極化、加速化させてまいります。

2. 内装へのこだわり

新製品開発ではチームプレーを重視しており、内装には研究所員同士のコミュニケーションを活発にする仕掛けを施しました

①スタッフルームはどの階からも全ての部署を見渡せるスキップフロア構造を採用いたしました。

②床・壁・実験台の色には、色彩理論に基づき、自由な発想を生み出すことを可能にするといわれる日本伝統の和の色を取り入れました。

3. 外観へのこだわり

建物の外観では“富山県の池田模範堂”を表現コンセプトにいたしました。

①富山県（立山連峰）②肌（白い肌、角層の重なり構造）③池田模範堂の製品（かゆみ止めのクリーム、液体MSの容器の形状）の3つを表しています。

【 今後の見通し 】

弊社の商品開発ポリシーは、何年かかろうとも世の中になかったエグな一番手商品を開発することにあります。新研究所の新しい機能、設備を大いに活用し新商品開発に精力的に取り組み、中期的には売上目標 150 億円達成を目指します。